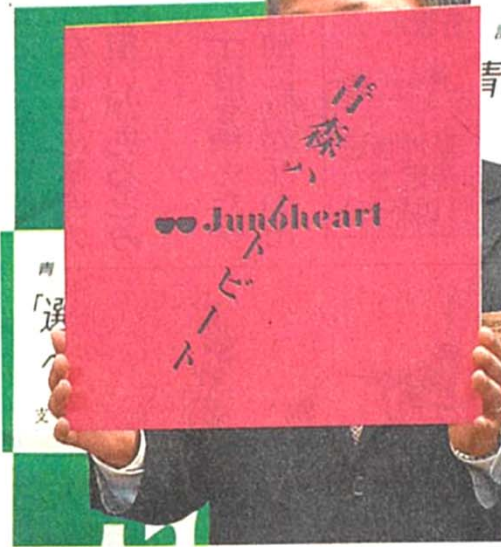


# サクランボ新品種の上位品

## 「青森ハートビート」

### 名称発表

支え合い、共に生



ジュノハートの上位等級品に使用することが決まった新しい名称とロゴ

県と独立行政法人・県産業技術センターりんご研究所県南果樹部が開発したサクランボ新品種「ジュノハート」のうち、大玉で色つやが優れ、形状がハート形の上位等級品の新名称が「青森ハートビート」に決まった。プレデビューの本年度は、県内のみの出荷となり、夏にも販売が始まる見通し。2020年度には本格デビューを控え、県はブランド化・販売戦略を加速させる。

25日午前、三村申吾知事が会見で、新名称と青森ハートビートのロゴマーク、ジュノハートのロゴマークを発表した。「鼓動」を意味する「ハートビート」という名前は「見たとき、食べたときの胸の高まり」（三村知事）を表現したといい、ロゴにもオリジナルのピンクを使用。躍動感を表現するため、文字を斜めに配置した。

「青森ハートビート」はジュノハートの中でも4Lサイズで、色付きが良く形が整っている高品質の果実に限り名前が与えられる。東京五輪イヤーとなる20年度からは首都圏を中心に全国へ本格出荷される。香港、台湾では大玉志向が高まっており、ゆくゆくは海外輸出も視野に入れる。

（松田啓志、加藤景子）

2019年4月25日

東奥日報 掲載

※この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。